



製品安全データシート
混合物(塗料用)

整理番号 057-0015

1 化学物質等及び会社情報

製品名 057ライン パテ用硬化剤
057-0015 硬化剤エロー

会社名 ロックペイント株式会社
住所(本社所在地) 大阪市西淀川区姫島3-1-47
担当部門 品質保証部
担当者 杉田博也 TEL 03-3640-2250 FAX 03-3640-0158
e-mailアドレス tokyo-hinshitsu@rockpaint.co.jp
緊急連絡先(時間外) 本社工場 TEL 06-6473-1551
製品説明(種類) パテ用硬化剤

主な用途 パテ用硬化剤

作成 1994(平成6)年9月17日
改訂 2009(平成21)年10月1日

2 危険有害性の要約

【GHS分類】

可燃性個体 : 区分外
有機過酸化物 : タイプD
急性毒性 経口 : 区分4
経皮 : 区分5
吸入 (ガス) : 分類できない
(蒸気) : 区分5
(粉じん、ミスト) : 区分外

皮膚腐食性/刺激性 : 区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A
呼吸器感受性 (固体/液体) : 分類できない
(気体) : 分類できない

皮膚感受性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 区分2
発がん性 : 区分2
生殖毒性 : 区分2
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) : 区分1 (該当なし)
: 区分2 (該当なし)
: 区分3 (該当なし)
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) : 区分1 (該当なし)
: 区分2 (精巣、肝臓)

吸引性呼吸器有害性 : 区分外
水生環境有害性(急性) : 区分外
水生環境有害性(慢性) : 区分外

【GHSラベル要素】

「絵表示、注意喚起語」



危険

「危険有害性情報」

- ・熱すると火災の恐れ
- ・飲み込むと有害
- ・皮膚に接触すると有害の恐れ
- ・吸入すると有害のおそれ(蒸気)
- ・皮膚刺激
- ・強い眼への刺激
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がんのおそれの疑い
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・長期ないし反復暴露による臓器(精巣、肝臓)の障害のおそれ

「特定の危険有害性」

- ・温度上昇や異物混入により自己発熱分解を起こす自己反応性物質を含む。可燃性物質や還元剤を酸化し、発火に致る恐れがある。

「注意書き」

《予防策》

- * 容器を密閉しておくこと。
- * 蒸気が滞留すると爆発及び有機溶剤中毒になるおそれがあるので取扱場所には局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行うこと。
- * 熱/火花/裸火/高温体などの着火源から遠ざけること。ー禁煙。
- * 取扱い時は保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。
- * ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。
- * 取扱い時には飲食や喫煙をしないこと。
- * 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用すること。
- * 容器および受器を接地すること(アースを取ること)。
- * 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- * 火花を発生しない工具を使用すること。
- * 取扱い後は手洗い、うがい及び鼻孔洗浄を十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落とすこと。
- * 環境への放出を避けること。

《応急措置》

- 火災の場合 : 泡又は強化液消火器あるいは水を用いて消火すること。
- 目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。出来るだけ早く医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 皮膚等に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。多量の石けん水で洗い落とすこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受けること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。
- 漏出した場合 : 漏出物を回収すること。

《保管》

- * 涼しく換気のよい場所で、施錠して保管すること。(30℃以下)

《廃棄》

- * 内容物や容器を廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別
一般名

| 成分名 | CAS No. | 含有量(重量%) | PRTR |
|-----------------|------------|-----------|------------|
| クリストバライト | 14464-46-1 | 5 ~ 10 | |
| シクロヘキサノンパーオキサイド | 12262-58-7 | 3.0 ~ 3.5 | |
| シクロヘキサノン | 108-94-1 | 1 ~ 5 | |
| メキシプロピルアセテート | 108-65-6 | 3.5 ~ 4.0 | |
| フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | 117-81-7 | 1.0 ~ 5 | 1種 # 3 5 5 |
| 過酸化水素 | 7722-84-1 | 0.1 ~ 1 | |

4 応急措置

- 目に入った場合 * 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。コンタクトレンズを使用している場合は、損傷を招かず取り除ける場合に限り、外して洗浄する。速やかに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 * 意識がある場合に限り(好ましくは5%アスコルビン酸ナトリウム水溶液)もしくは牛乳を飲ませ吐き出させる。速やかに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 * 皮膚に触れたら直ちに湯または水と石けんで洗い流し、医師の診断を受ける。
* 汚染された衣類を取り除くこと。
- 吸入した場合 * 吸入による事故の場合は負傷者を新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。呼吸が弱ったり止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行い医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

- 使用可能消火剤 水[○] 炭酸ガス[○] 泡[○] 粉末[○] 乾燥砂[○]
- 消火方法 * 指定の消火器(粉末、泡)を使用すること。消化後も白煙分解が続くので放水して冷却し、完全に消化したことを確認すること。
* 適切な保護具(耐熱着衣など)を着用する。
* 火災の初期に発見出来ず、貯蔵品に引火の恐れがある場合には、爆発の危険性があるので絶対近寄らず、安全な距離を保って大量の水をかけ引火を防止すること。
* 鎮火後再燃の危険性がある。十分散水冷却し、監視を続ける。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- * 作業の際には適切な保護具(耐溶剤手袋、耐薬品手袋、有機ガス用防毒マスク、保護服、保護眼鏡等)を着用する。
- * 適切な保護衣を着用していないときは破損した容器や漏洩物に触れてはいけない。
- * 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- * 付近の着火源、高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
- * 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項

- * 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

- * 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。床は、水または石鹼で十分に洗浄すること。拭き取りに使ったウエス等は速やかに焼却するか、廃棄するまで水に漬けておく。
- * 流出物は、密閉出来る容器に回収し、十分な量の水に浸し、安全な場所に移す。
- * 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。

7 取り扱い、保管及び塗装上の注意

取り扱い上の注意

- * 換気のよい場所で取り扱う。
- * 容器はその都度密栓する。
- * 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- * 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
- * 作業中は、帯電防止型の作業服、安全靴を使用する。
- * 工具は火花防止型のものを使用する。
- * 使用済みウエス等は廃棄するまで水に漬けておく。
- * 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
- * 取り扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。
- * タンク、地下室のような密閉された場所における作業には、局所排気装置を付け、送気マスク、耐溶剤手袋、耐薬品手袋、保護眼鏡、帯電防止型の保護服、安全靴などの適切な保護具を着用すること。

保管上の注意

- * 35℃以下を守ること。
- * 日光の直射を避ける。
- * 通風のよいところに保管する。
- * 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- * 酸・アルカリ類、アミン類、重金属、還元剤等の異物並びに木、紙、綿、織物等の可燃物との接触を避ける。
- * 転倒、転落しないように注意する。

8 暴露防止及び人に対する保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的暴露限界値、生物学的限界値)

| 物質名 | 管理濃度 | 許容濃度[ACGIH(TLV)] |
|-----------------|--------------------|-----------------------|
| クリストバライト | 設定なし | 0.05mg/m ³ |
| シクロヘキサノンパーオキシド | 設定なし | 設定なし |
| シクロヘキサノン | 20ppm | 20ppm |
| メキシプロピルアセテート | 設定なし | 設定なし |
| フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | 5mg/m ³ | 5mg/m ³ |
| 過酸化水素 | 設定なし | 1ppm |

設備対策

- * 取扱設備は防爆型を使用する。
- * 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- * 取扱場所の近くには高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
- * 屋内作業の場合は、自動塗装機等を使用する等、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
- * タンク内部等の密閉場所で作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

呼吸器の保護具

- * 有機ガス用防毒マスク(フィルタ付)又は送気マスクを着用する。
- * 密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具

- * 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- * 皮膚保護クリームをあらかじめ付着する可能性のある部分に塗布する。

目の保護具

- * 取扱いには保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護

- * 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないように化学薬品が浸透しない材質の衣類を着用すること。

9 物理的および化学的特性

| | |
|-----------------|-------------------|
| 状態 | ペースト |
| 色 | 黄色系 |
| 臭気 | 特異臭 |
| 沸点 | 情報なし |
| 引火点 | 情報なし |
| 爆発範囲 | 情報なし |
| 蒸気圧 | 情報なし |
| 蒸気密度 | 情報なし |
| 溶解度 | 情報なし |
| n-オクタノール／水分配係数 | 情報なし |
| 自然発火温度 | 情報なし |
| 自己促進分解温度(SADT) | 50°C以上(BMA) |
| 落錐感度 | 100cm以上 |
| 分解のしやすさ(圧力容器試験) | 1mm未満(危政令) |
| その他 | 大量に燃焼すると爆発の危険がある。 |

10 安定性および反応性

- 反応性 温度上昇や異物混入により自己発熱分解を起こす自己反応性物質を含んでいる。アルカリ金属、アルカリ土類金属の水和物、酸化鉄、ナフテン酸コバルト、酸、アミン類等と接触すると分解する。燃焼するとCO、NO_xなどを発生することがある。

11 有害性情報
 組成物質有害性

| | 急性毒性 | | | | |
|-----------------|--|--------------------|------------------------------|------------------|------------|
| | 経口 | 経皮 | 吸入(ガス) | 吸入(蒸気) | 吸入(粉塵、ミスト) |
| クリストバライト | 分類できない | 分類できない | 分類できない | 分類できない | 分類できない |
| シクロヘキサノンパーオキサイド | 分類できない | 分類できない | 分類できない | 分類できない | 分類できない |
| シクロヘキサノン | 区分4 (1544mg/kg) | 区分3 (947mg/kg) | 分類対象外 | 区分3 (2450ppm) | 区分外 |
| トキシプロピルアセテート | 分類できない | 分類できない | 分類できない | 分類できない | 分類できない |
| フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | 区分外 | 区分外 | 分類対象外 | 分類できない | 区分外 |
| シクロヘキサノンパーオキサイド | 分類できない | 分類できない | 分類できない | 分類できない | 分類できない |
| 過酸化水素 | 区分4 (311mg/kg) | 区分5 (4060mg/kg) | 分類対象外 | 区分3 (1438ppm) | 分類できない |
| | 皮膚腐食性/刺激性 | 眼損傷性/眼刺激性 | 呼吸器感受性 | 皮膚感受性 | |
| クリストバライト | 分類できない | 分類できない | 分類できない | 分類できない | |
| シクロヘキサノンパーオキサイド | 区分1 | 区分1 | 分類できない | 分類できない | |
| シクロヘキサノン | 区分2 | 区分2A | 分類できない | 区分外 | |
| トキシプロピルアセテート | 分類できない | 分類できない | 分類できない | 分類できない | |
| フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | 区分3 | 区分2B | 分類できない | 区分外 | |
| シクロヘキサノンパーオキサイド | 区分1 | 区分1 | 分類できない | 分類できない | |
| 過酸化水素 | 区分1A-1C | 区分1 | 分類できない | 分類できない | |
| | 生殖細胞変異原性 | | 発がん性 | 生殖毒性 | |
| クリストバライト | 分類できない | | 分類できない | 分類できない | |
| シクロヘキサノンパーオキサイド | 分類できない | | 区分外 | 分類できない | |
| シクロヘキサノン | 区分2 | | 区分2 | 区分2 | |
| トキシプロピルアセテート | 分類できない | | 分類できない | 分類できない | |
| フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | 区分外 | | 区分2 | 区分1B | |
| 過酸化水素 | 区分外 | | 区分外 | 区分2 | |
| | 特定標的臓器/全身毒性(単回) | | 特定標的臓器/全身毒性(反復) | 吸引性呼吸器有害性 | |
| クリストバライト | 区分1(該当なし) 区分2(該当なし) 区分3(該当なし) | | 区分1(該当なし) 区分2(該当なし) | 分類できない | |
| シクロヘキサノンパーオキサイド | 区分1(該当なし) 区分2(該当なし) 区分3(該当なし) | | 区分1(該当なし) 区分2(該当なし) | 分類できない | |
| シクロヘキサノン | 区分1(肝臓、脾臓、中枢神経) 区分2(肺) 区分3(麻酔作用、気道刺激性) | | 区分1(腎臓、肝臓、中枢神経) 区分2(該当なし) | 区分2 | |
| トキシプロピルアセテート | 区分1(該当なし) 区分2(該当なし) 区分3(該当なし) | | 区分1(該当なし) 区分2(該当なし) | 分類できない | |
| フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | 分類できない 分類できない 分類できない | | 区分1(該当なし) 区分2(精巣、肝臓) | 分類できない | |
| 過酸化水素 | 区分1(呼吸器系・中枢神経) 区分2(該当なし) 区分3(該当なし) | | 区分1(肺) 区分2(血液系) | 分類できない | |

製品有害性 製品としての安全性試験をしていない。

12 環境影響情報

- ・一般注意事項 : 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いには注意する。
: 特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
- ・生態毒性 : 情報なし
- ・残留性・分解性 : 情報なし
- ・生体蓄積性 : 情報なし
- ・土壤中の移動性 : 情報なし
- ・成分の水生環境有害性情報(環境有害物質を対象)

| | 水生環境有害性(急性) | 水生環境有害性(慢性) |
|-----------------|-------------|-------------|
| クリストバライト | 分類できない | 分類できない |
| シクロヘキサノンパーオキサイド | 分類できない | 分類できない |
| シクロヘキサノン | 区分外 | 区分外 |
| オキシプロピルアセテート | 分類できない | 分類できない |
| フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | 区分1 | 区分外 |
| 過酸化水素 | 区分2 | 区分外 |

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

- * 廃硬化剤容器等の廃棄処理する場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして廃棄処理を委託する。
- * 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- * 排水処理などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器および包装

- * 使用後空になった容器は速やかに水洗いし、処分するまで直射日光の当たらない場所にキャップを外して保管しておくこと。
- * 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

14 輸送上の注意

- * 35℃以下を守ること。
- * 日光の直射を受けぬように遮蔽して下さい。ただし、シート等を掛けて空気の流れを遮断すると、直射日光により内部の温度が上昇し、かえって危険な状態となる場合があるので注意が必要です。
- * 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと。
- * 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内法規

- * 国連番号 : 3106
- * 指針番号 : 145
- * 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付する。
- * 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。
- * 航空輸送 : 有機過酸化化物(輸送禁止)

15 適用法令

- 化学物質管理促進法(略称) : 第一種指定化学物質
- 消防法 : 危険物第5類第2種自己反応性物質
- 労働安全衛生法施行令 : 爆発性の物
- 危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 酸化性物質類、有機過酸化化物
- 航空法施行規則 : 有機過酸化化物(輸送禁止)

16 その他の情報

参考文献

- 化学物質の危険・有害性便覧(中央労働災害防止協会)
- 原料メーカー製品安全データシート
- 製品安全データシート・ガイドブック(日本塗料工業会)
- 毒劇物基準関係通知集(薬務広報社)
- 12093の化学商品(化学工業日報社)
- MSDS用物質データベース(日本塗料工業会)
- TLVs and BEIs:2007(ACGIH)

注意

この製品安全データシートは、安全な使用と取り扱いを確保する為の参考情報として現時点で入手できる、正確であると信用出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、多くの情報は弊社外の情報源から入手したものであり、その正確性、確実性を保証することは出来ません。また、製品についていかなる保証をするものでもありません。

記載している健康、安全に関する注意は総ての人、環境、安全、健康面の影響を網羅するものではなく、総ての原料には未知の危険有害性の存在する可能性がある為、取扱には十分な注意が必要です。

製品には化学物質を含んでおりますので、不特定多数の方が利用される場所・物への使用に際しては、塗装の事実を立看板等で告知するなどし、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への十分な配慮を行ってください。

使用におかれましては、関係法令に従うと共に、この製品安全データシートを参考に、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定の上ご使用下さいますよう、また最新の情報を入手された場合は、最新情報の内容に従って安全にご使用下さいますようお願い申し上げます。